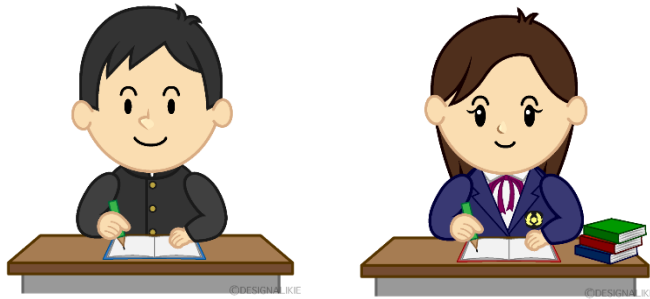


令和8年度

園芸工学・農業経済科 2学年

シラバス  
(授業計画)



Kagoshima prefectural YAMAGAWA High School

鹿児島県立山川高等学校

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新編現代の国語						
副教材等	実践文字カトリプルチェック, パーフェクト演習 (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・ 授業では, 学習内容をノートに記入したり, 資料プリントを利用して理解を深めたりします。しっかり聞いて, 考えて, 自分の考えを発表しましょう。また, 配付されたものは整理して綴っておきましょう。
- ・ 授業中に分からないことがあれば, 遠慮なく質問しましょう。
- ・ 朗読や発表をするときには, できるだけ大きな声ではっきりと行いましょう。
- ・ 復習をしっかり行うことで学習内容が身についていきます。

2 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ, 言語活動を通して, 国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし, 他者との関わりの中で伝え合う力を高め, 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに, 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ, 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち, 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期考査, 課題考査等	提出物, 授業ノート, 発言等	授業態度, 発言, 出席状況等

上に示す観点に基づいて, 学習のまとめごとに評価し, 学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて, それぞれの観点を適切に配分し, 評価します。

4 学習の活動

学期	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
1 学期	こそそめスープ	○	○	○	a:言葉の認識や思考を支える働きを理解している b:「読むこと」について要旨や要点を把握している。「話すこと・聞くこと」において伝え合う内容を検討している。 c:自分の考えをまとめ, 話し合おうとしている	考査成績 提出物 発言等
	ルリボシカミキリの青	○	○	○		
	気になるニュースについて話そう	○	○	○		
2 学期	未来をつくる想像力	○	○	○	a:言葉の認識や思考を支える働きを理解している b:「読むこと」について要旨や要点を把握している。「話すこと・聞くこと」において伝え合う内容を検討している。 c:自分の考えをまとめ, 話し合おうとしている	考査成績 提出物 発言等
	メディアとの付き合い方	○	○	○		
	水の東西	○	○	○		
3 学期	やってみよう	○	○	○	a:言葉の認識や思考を支える働きを理解している b:「読むこと」について要旨や要点を把握している。「話すこと・聞くこと」において伝え合う内容を検討している。 c:自分の考えをまとめ, 話し合おうとしている	考査成績 提出物 発言等
	集めた情報の内容を検討して意見文を書いてみよう	○	○	○		
	書いてみよう	○	○	○		

令和8年度 地歴公民科【シラバス】(全科共通)

教科	地理歴史科	科目	地理総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	046 帝国 地総901 新地理総合(帝国書院)、地図帳(帝国書院)						
副教材等	わたしたちの地理総合 改訂版ワークブック(山川出版社)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度初めにワークブックを配布。毎時間、地図帳・教科書・ワークブックの3点を準備。</li> <li>・ ワークブックの空欄を埋め、教員の話聞きながら必要に応じてメモを取りましょう。</li> <li>・ 社会的事象に関して友達と話し合う時間や意見をまとめる時間もありますので、積極的に発言をしましょう。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標(学習指導要領 提示)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質や能力を養う。</li> </ul>
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地理に関する諸事象に関して世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組を理解している。</li> <li>・ 地図や地理情報システム、資料などを用いて、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地理に関する諸事象の意義や特色等を、位置や分布、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用などに着目して、多面的多角的に考察したり、地理的な課題解決に向け考察、構想したことをもとに議論したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地理に関する諸事象について、主体的に追究、解決しようとするとともに、我が国の国土への愛情をもち、世界の多様な文化を尊重しようとしている。</li> <li>・ 自己の学習状況を客観的に振り返り、記録を残そうとしている。</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各テスト</li> <li>・ 準拠ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各テスト</li> <li>・ パフォーマンス課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リフレクションシート</li> </ul>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動(単元の評価規準cについては、上記 学習評価に記載のとおり)

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	地図とGISの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 球面上の世界</li> <li>・ 国家の領域領土問題</li> <li>・ 国内や国家間の結びつき</li> </ul>	球面上での生活	○	○	○	a: 方位や時差、日本の位置や領域についての理解。地図や地理情報システムの役割や有用性について理解し、活用している。 b: 位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用方法などを多面的多角的に考察し、表現している。	各テスト 準拠ノート リフレクションシート
			領域問題			○		
			国家、観光、交通、通信、物流	○	○	○		
2 学期	生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境と生活文化</li> <li>・ 産業の発展と生活文化</li> <li>・ 言語や宗教と</li> <li>・ グローバル化の進展</li> </ul>	各気候の生活	○	○	○	a: 世界の生活文化が地理的環境から影響を相互に与えることで多様性を持つことや環境の変化により変容することなどについて理解している。 b: 生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目、多様性や変容の要因などを多面的多角的に考察し、表現している。	各テスト パフォーマンス課題 リフレクションシート
			各国の農業、工業	○		○		
			世界の言語、宗教について	○	○	○		
3 学期	地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口・食料問題</li> <li>・ 居住・都市問題</li> <li>・ 資源・エネルギー問題</li> </ul>	人口と食料問題	○		○	a: 地球の様々な課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し、解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の知識組みや国際協力が必要なことを理解している。 b: 地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会作りなどに着目し、現状や要因、解決の方向性などを多面的多角的に考察し、表現している。	各テスト パフォーマンス課題 リフレクションシート
			世界の居住・都市問題			○		
			再生可能エネルギー	○	○	○		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	数学科	科目	数学 I	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	数 I 708「高校数学 I」(実教出版)						
副教材等	高校数学 I スタディノート(実教出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では教科書・スタディノートをベースに進める。必要に応じて、ノートを準備すること。</li> <li>・評価は定期考査・長期休暇明けの課題考査・授業態度・提出物等をもとに行う。</li> <li>・提出物は締切を厳守すること。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

三角比	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有効性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。
集合と論証	数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的に見たり処理したりするとともに、一次不等式の事象の考察に活用できるようにする。
データの分析	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解し、数学的な表現・処理する技能を身につけている。	基本的な法則を活用して事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて表現することができる。	数学の論理や体系に関心を持ち、事象を数学的論拠に基づいて判断しようとする。また、数学のよさを認識し、活用しようとする。
評価方法	・定期考査・課題考査 ・小テスト など	・定期考査・小テスト ・授業態度 など	・授業態度・出席状況 ・提出物 など

上に示す観点に基づいて、学習のまともにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	三角比	三角比 三角比の応用	三角比の利用	○		○	a:三角比の意味と相互関係について理解する。 b:日常の事象について三角比の知識を用いて考察できる。 c:いろいろな事象を三角比の知識を用いて考えようとする。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			三角比の相互関係	○	○	○		
			三角比の拡張	○	○	○		
			三角比の面積	○	○	○		
			正弦定理・余弦定理	○	○	○		
2 学期	集合と論証	集合と論証	集合と要素	○		○	a:集合や命題について基本的な概念を理解する。 b:集合や命題の違いを理解し活用できる。 c:具体的な事象を集合や命題を利用して考えようとする。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			命題 いろいろな証明	○	○	○		
3 学期	データの分析	データの分析	統計とグラフ・代表値 データの散らばり	○		○	a:代表値や偏差などを求めることができる。 b:分析するデータによってそれに適切な値を選択し、適切に考察することができる。 c:身の回りのデータを集め解析しようとする。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			外れ値・相関関係 仮説検定の考え	○	○	○		

令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	数学科	科目	数学Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	数Ⅱ705「高校数学Ⅱ」(実教出版)						
副教材等	高校数学Ⅱスタディノート(実教出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では教科書・スタディノートをベースに進める。必要に応じて、ノートを準備すること。</li> <li>・評価は定期考査・長期休暇明けの課題考査・授業態度・提出物等をもとに行う。</li> <li>・提出物は締切を厳守すること。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

複素数と方程式	<p>数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算ができる。</p> <p>等式や不等式の性質に着目し、式を証明したり、身近な事象を考察したりできる。</p>
図形と方程式	<p>座標平面上での内分点・外分点の座標、直線や円の方程式を求めることができる。</p> <p>また、それらを活用して不等式の表す領域を考察することができる。</p>

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解し、数学的な表現・処理する技能を身につけている。	基本的な法則を活用して事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて表現することができる。	数学の論理や体系に関心を持ち、事象を数学的論拠に基づいて判断しようとする。また、数学のよさを認識し、活用しようとする。
評価方法	・定期考査・課題考査 ・小テスト など	・定期考査・小テスト ・授業態度 など	・授業態度・出席状況 ・提出物 など

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	複素数と方程式	式の計算 複素数と2次方程式	展開・因数分解	○		○	a:式の性質や公式を理解し、それらを用いて計算できる。 座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			分数式	○	○	○		
			複素数の計算	○	○	○		
			2次方程式	○	○	○		
2学期	複素数と方程式	高次方程式 式と証明 点と座標 直線の方程式	高次方程式	○	○	○	b:既習の内容から発展させ、解法や法則を考察できる。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			式と証明	○	○	○		
			内分点・外分点	○		○		
			直線と方程式	○	○	○		
3学期	図形と方程式	円の方程式 不等式の表す領域	円の方程式	○		○	c:授業に意欲的に参加し、理解しようとする。日常の事象について数学的に考察しようとする。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			円と直線の関係	○	○	○		
			不等式の表す領域	○	○	○		

令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高校 生物基礎 Visual (実教出版 生基 007-902)						
副教材等	高校生物基礎 Visual エブリイノート 授業のまとめ						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

授業では、エブリイノートで基本的な内容をまとめる。  
 評価は、定期考査、授業態度、提出物、小テスト等でおこなう。  
 定期考査の誤りは、訂正プリントに整理・訂正する。

2 学習の到達目標

生物のからだの機能や調節のしくみ、生物の多様性と共通性、生態系について理解し、考える。  
 そのために、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験、調査などを行うことを通して、生物や生物現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活との関連を図りながら物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験、調査などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとする態度をもっている。
評価方法	定期考査 小テスト	定期考査 エブリイノートの記述	ノートの記述、春・夏・冬休み課題 授業態度、訂正プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	生物の特徴	生物の特徴 遺伝子とその働き	生物の多様性と共通性	○	○	○	a:細胞の構造と働き、代謝や酵素の役割について理解している。 b:生活と関連付けて観察、実験等を行い、科学的に考察し表現している。 c:生態系を人間生活と関連付け、理解しようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			生物とエネルギー	○	○	○		
			遺伝情報とDNA	○	○	○		
2学期	生物の体の調節	遺伝子とその働き ヒトのからだの調節	遺伝情報とタンパク質の合成	○	○	○	a:遺伝子の働きや恒常性維持のしくみについて理解している。 b:生活と関連付けて観察、実験等を行い、科学的に考察し表現している。 c:免疫を学び、自身の健康を維持する態度を身につけようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			体内環境 体内環境の維持のしくみ	○	○	○		
			免疫	○	○	○		
3学期	生態系	生物の多様性と生態系	生態系、植生	○	○	○	a:生態系や生物の多様性について理解している。 b:生活と関連付けて観察を行い、科学的に考察し表現している。 c:環境保全に必要な実践的態度を身につけようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			生物の多様性	○	○	○		
			生態系のバランスと保全	○	○	○		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	現代高等保健体育						
副教材等	現代高等保健体育ノート、ステップアップ高校スポーツ 2025						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育服、靴下、シューズの忘れ物がないように準備をしましょう。</li> <li>・自主的に活動に取り組み、運動習慣を確立させましょう。</li> <li>・課題を解決するための話し合いに自主的に関わり、発言をしましょう。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<p>(1)運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
---

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。
評価方法	筆記テスト、実技テスト	観察、ワークシート	観察、ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期		・体づくり運動 ・球技 ・ダンス	体づくり運動	○		○	a:生涯にわたって運動を豊かに実践するための技術の名称や行い方、体力の高め方について理解しているとともに選択した領域の基本的な技能や動きを身に付けている。  b:自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。  c:運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように自主的に取り組もうとしている。	筆記テスト 実技テスト ワークシート 観察
			体ほぐしの運動		○	○		
			バレーボール バドミントン バスケットボール	○	○	○		
			ダンス	○		○		
2学期	体育	・ダンス ・陸上競技 ・体育理論 ・球技 ・武道	ダンス	○	○			
			短距離走 長距離走	○	○			
			体育理論	○		○		
			サッカー 卓球 剣道	○	○	○		
3学期		・体育理論 ・球技	体育理論	○	○			
			バドミントン 卓球 バスケットボール	○	○	○		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	年次	2年次
使用教科書	現代高等保健体育						
副教材等	現代高等保健体育ノート						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、教科書とノートを持参しましょう。</li> <li>・ノートの空欄を埋め、教師の話聞きながら必要に応じてメモを取りましょう。</li> <li>・課題を解決するための話し合いに自主的に関わり、発言をしましょう。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	ノート、単元テスト、発言	ノート、単元テスト、発言	ノート、単元テスト、発言
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯の各段階における健康</li> <li>・労働と健康</li> </ul>	ライフステージ・思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産・避妊法・人工妊娠中絶	○	○		<p>a:生涯を通じる健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>b:生涯を通じる健康について、健康に関する原則や概念に着目して判断するとともに、それらを表現している。</p> <p>c:生涯を通じる健康について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・発言</li> </ul>
			結婚生活・中高年期と健康 働くこと・労働災害と健康	○		○		
2学期	健康を支える環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と健康</li> <li>・食品と健康</li> <li>・保健・医療制度</li> <li>・様々な保健活動</li> </ul>	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康 環境対策・ごみ処理・上下水道	○	○		<p>a:健康を支える環境づくりについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>b:健康を支える環境づくりについて、課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して判断するとともに、それらを表現している。</p> <p>c:健康を支える環境づくりについて、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート</li> <li>・単元テスト</li> <li>・発言</li> </ul>
			食品の安全性・食品衛生		○	○		
			保健サービス・医療サービス・医薬品	○		○		
3学期			さまざまな保健活動 健康に関する環境づくりと社会参加		○	○		

令和8年度 全科共通【シラバス】

教科	外国語科	科目	英語 コミュニケーション I	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	All aboard! English Communication I						
副教材等	英作基本文例600【第6版】						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・毎回ノートに予習をして授業を受けてください。ノートの書き方については授業で指示します。
- ・授業時に配付されるテスト対策プリントや参考プリントをファイルに綴じておいてください。
- ・定期考査や課題考査で間違えた箇所は毎回ノートに訂正してもらいます。

2 学習の到達目標

- (1) 日常のもしくは社会的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を身につける。詳細は別途 Can-Do リストで示す。
- (2) 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- (3) 実用英語技能検定(英検)の3~準2級程度の英語力を身につける。(CEFR A1~CEFR A2)

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めるとともに, その知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的话题や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話して手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	・定期考査・課題考査 ・パフォーマンステスト	・定期考査・課題考査 ・パフォーマンステスト	・授業態度(授業時の発言や発表等) ・出席状況・課題考査 ・訂正や宿題等の提出物 ・パフォーマンステスト

上に示す観点に基づいて, 学習のまとまりごとに評価し, 学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて, それぞれの観点を適切に配分し, 評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	受け身と比較表現の理解	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	スピーチ文から歌川国芳が日本漫画の先駆者であることを読み取り, また絵を見てその内容を英語で表現できるようにする。	○	○	○	a: 音声, 語彙, 表現, 文法(受け身, 比較表現), 言語の働きを理解し, 適切に活用する技能を身につけている。に表現したり, 伝え合ったりしている。 b: 日常のもしくは社会的な話題を読み聞きし, その内容を的確に理解している。また, それをもとに適切に表現したり, 伝え合ったりしている。 c: 授業態度, 出席状況, 提出物が良好である。また, ある絵や関心のある人物について, インタビューをし, その意見を英文でまとめることができる。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Lesson 7 A Diary of Hope	アンネ・フランクの紹介文から彼女の前向きな姿勢を読み取り, アンネの幸不幸について英語で意見を交換できるようにする。	○	○	○		
2 学期	現在完了形と分詞の理解	Lesson 8 A Door to a New Life	分身ロボットを用いれば重傷者でも社会に貢献できることを読み取り, とある商品に関するプレゼンを英語で発表できるようにする。	○	○	○	a: 音声, 語彙, 表現, 文法(現在完了形, 現在分詞と過去分詞), 言語の働きを理解し, 適切に活用する技能を身につけている。 b: 日常のもしくは社会的な話題を読み聞きし, その内容を的確に理解している。また, それをもとに適切に表現したり, 伝え合ったりしている。 c: 授業態度, 出席状況, 提出物が良好である。また, 新型ロボットのアイデアやゴミ問題解決法をインタビューも踏まえて英語で発表できる。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Lesson 9 Ghosts in the Oceans	プラスチック汚染と戦う二人の少女たちの運動を読み取り, 環境問題への解決策を英語で言えるようにする。	○	○	○		
3 学期	関係代名詞の理解	Lesson 10 Pigs from across the Sea	沖縄とハワイとの関係について読み取り, 海外の文化や社会を理解するために何が出来るかを英語で発表できるようにする。	○	○	○	a: 音声, 語彙, 表現, 文法(関係代名詞, 仮定法過去), 言語の働きを理解し, 適切に活用する技能を身につけている。 b: 日常のもしくは社会的な話題を読み聞きし, その内容を的確に理解している。また, それをもとに適切に表現したり, 伝え合ったりしている。 c: 授業態度, 出席状況, 提出物が良好である。また, 海外の文化や社会の理解を深めるために, 私たちに何が出来るかをインタビューも踏まえて英語で発表できる。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Reading 2 Mujina	東京が江戸と呼ばれていた頃の怖い話。のっぺらぼうを題材にした物語で, 恐怖に震えた江戸の町を読み解く。					

令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	家庭総合(実教出版)						
副教材等	Life Design 資料+成分表+ICT(実教出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・授業はワークシートを使って、毎時間の振り返りの自己評価、単元の最後にはそれぞれのテーマについての自分の考えをまとめ、それらを評価します。
- ・実習やグループワークを行って、技能や主体的に取り組む態度を評価します。
- ・ホームプロジェクトを通して、生活の課題解決を主体的に行います。

2 学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質、能力を育成する

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣生活、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
評価方法	定期考査 調理実習 ワークシート	定期考査, ワークシート	定期考査, ワークシート ファイル, 課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとにより評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元 題材	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	子どもと保育	子どもとかわる	子どもとは			○	a:乳幼児期の心身の発達と生活, 子どもの遊びと文化, 親の役割と保育, 子育て支援や子どもを取り巻く課題について理解を深め, 子どもに関わる技能を身につける。 b:子どもを産み育てることの意義や保育の重要性について考え, 親や家族地域社会の果たす役割の重要性を考察し関わり方が工夫できる。 c:他者と協働して主体的に取り組める。	定期考査 ワークシート
			子どもの発達	○	○			
			子ども生活	○		○		
			子どもをはぐくむ	○	○			
			子どもの社会福祉	○		○		
			家庭クラブ活動			○		
2学期	住生活	住生活をつくる	人間の住まい	○			a:住生活の科学と文化について, 住生活の自立に必要な知識と技能を身につけている。 b:ライフステージと住環境に応じた住居の計画防災などの安全や環境に配慮したまちづくり, 日本の住文化の継承創造について考察し工夫できる。 c:日本と世界の住文化に関心をもち, 主体的に現代の住生活に活かすことができる。	定期考査 ワークシート
			住まいの文化	○	○			
			住まいを計画する	○	○	○		
			快適な室内環境	○				
			持続可能な住まいと生活設計	○	○			
3学期	食生活	食生活をつくる	人と食物のかかわり	○	○		a:食生活の科学と文化について必要な知識や技能を身につけている。 b:主体的に食生活を営むことができるように健康環境に配慮した自己と家族の食事, 日本の食生活の継承創造について考察し工夫できる。 c:他者と協働して主体的に取り組める。  食分の献立作成と献立の整え方について学び, 調理実習献立の振り返りをしようとしている。	定期考査 ワークシート 調理実習
			私たちの食生活	○				
			栄養と食品	○				
			食品の選択と安全	○	○			
			食事の計画と調理	○	○	○		
			これからの食生活		○			
			ホームプロジェクト		○	○		

## 令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	農業科	科目	総合実習	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	野菜(実教出版)、食品製造(実教出版)、草花(実教出版)、植物バイオテクノロジー(実教出版)						
副教材等	日本農業技術検定テキスト						

### 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・実習を通して体験的に学び、幅広い知識と経験を習得し、専攻学習につなげましょう。
- ・実習終了後には、毎回レポートを記入し、提出してもらいます。実習中の取組み状況も大切ですが、レポート記入も評価に大きく関わります。

### 2 学習の到達目標

- ・栽培及び食品加工に関する学習について興味や関心を高め、関係する技術を身に付ける。
- ・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	農業に関する基礎的・基本的な知識を身に付けて農業の意義や役割を理解している。	授業中の質問、課題に対して的確に解答することができる。課題に対して粘り強く取り組むことができる。	授業に意欲的に取り組み、質問に対して積極的に発言する。また課題(レポート)をしっかりと行い毎回必ず提出する。
評価方法	小テストや課題、レポートへの取り組みなど	小テストや課題、レポートへの取り組みなど	授業態度、提出物の取り組みなど

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

### 4 学習の活動

学期	部 門 (題材等)	学 習 内 容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
I 学 期	野 菜	野菜(果菜類)の特性を踏まえた栽培を行います	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	小テストや課題(農業クラブ)、総合実習レポートへの取り組み
	草 花	草花の特性を踏まえた栽培を行います	○	○	○		
	食品製造	農産物及び畜産物の加工を学びます	○	○	○		
	植物バイオテクノロジー	生物工学で植物の増殖方法を学びます	○	○	○		

2 学 期	野 菜	野菜(果菜類)の特性を踏まえた栽培を行います	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	小テストや課題(農業クラブ)、総合実習レポートへの取り組み
	草 花	草花の特性を踏まえた栽培を行います	○	○	○		
	食品製造	農産物及び畜産物の加工を学びます	○	○	○		
	植物バイオテクノロジー	生物工学で植物の増殖方法を学びます	○	○	○		
3 学 期	野 菜	野菜(果菜類)の特性を踏まえた栽培を行います	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	小テストや課題(農業クラブ)、総合実習レポートへの取り組み
	草花	草花の特性を踏まえた栽培を行います	○	○	○		
	食品製造	農産物及び畜産物の加工を学びます	○	○	○		
	植物バイオテクノロジー	生物工学で植物の増殖方法を学びます	○	○	○		

令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	農業科	科目	農業と情報	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	7実教 農業702高等学校農業と情報						
副教材等	ライフイズテック						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活でコンピュータがどのような役割を果たしているのか、農業ではどのような使い方をしているのかを学びます。</li> <li>・表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアの使い方を実際に操作しながら学びます。</li> <li>・プログラミング的思考を身につける。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として、解決する力を養う。</li> <li>・農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む力を養う。</li> </ul>
---

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	学校での学習や実習,実習を通して,農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。	農業情報の活用について,環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって思考を深め,科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し,その過程や結果を適切に表現している。	農業情報を活用した事例をもとに,環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心をもちながら,農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	学習活動の取組,毎時間のファイル提出,定期考査	課題研究プレゼン 定期考査	学習活動の取組

上に示す観点に基づいて,学習のまとめりにごとに評価し,学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて,それぞれの観点を適切に配分し,評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	3章	コミュニケーションと情報デザイン	データの集計と視覚化	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業への取り組み
			プレゼンテーション	○	○	○		
2学期	4章	スマート農業への展望	スマート農業の目指す将来	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業への取り組み
			プログラムの設計	○	○	○		
3学期	6章	農業学習と情報活用	農業学習とプロジェクト	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業への取り組み
			プロジェクト発表と情報発信	○	○	○		
			データの視覚化と分析	○	○	○		

令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	農業	科目	野菜	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	野菜(実教出版)						
副教材等	日本農業技術検定テキスト, 日本農業技術検定問題集, 県「かごしまの農業」						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・授業では, 座学と実習があります。
- ・指宿市や南九州市の野菜栽培の現状を踏まえた内容を中心に取り組みます。
- ・実習があるので, 実習着を忘れずにもってきましょう。
- ・気温や湿度, 自分の体調などを踏まえ, 熱中症も含めて怪我などの予防に努めましょう。
- ・衛生管理の面から, 実習着は持ち帰り洗濯し更衣室も含めて清潔な環境作りに努めましょう。

2 学習の到達目標

- (1) 野菜について体系的・系統的に理解しているとともに, 関連する技術を身に付けている。
- (2) 野菜に関する課題を発見し, 職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
- (3) 野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び, 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	野菜の生産について理解しているとともに, 関連する技術を身に付けている。	野菜の生産に関する課題を発見し, 科学的根拠に基づいて創造的に解決している。	野菜の生産や人間生活との関わりについて自ら学び, 主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	ペーパーテスト(考査) 授業中の発表内容 小テスト ワークシート 実習中の実技	ペーパーテスト(考査) 授業中の発表内容 ワークシート	授業(実習を含む)態度 授業中の発表状況 提出物の取組状況

上に示す観点に基づいて, 学習のまとめりにごとに評価し, 学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて, それぞれの観点を適切に配分し, 評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	役割と苗作り	野菜生産の役割と動向 生育特性和栽培	野菜の種類や特徴について学習する。	○		○	a:生産の役割や育苗について理解しているとともに, 関連する技術を身に付けている。 b:生産の役割や育苗に関する課題を発見し, 科学	授業(実習を含む)観察 ノート ワークシート 定期考査
			野菜の消費や生産・供給		○			

		培環境 野菜の 育苗 育苗の 目的と 方法 育苗技 術の実 際と応 用	について学 習する。				的根拠に基づいて創造 的に解決している。 c:生産の役割や育苗が人 間生活との関わりにつ いて自ら学び,主体的か つ協働的に取り組もうと している。	
			育苗の意義 と良苗の条 件について 学習する。	○				
			育苗培地の 種類と作成 法について 学習する。	○		○		
2 学期	葉 菜類 ・ 根 菜類	サトイモ  ネギ  ニンジン	について学 習する。	○		○	a:サトイモ、ネギ、ニンジン 栽培について理解して いるとともに,関連する 技術を身に付けている。 b:サトイモ、ネギ、ニンジン 栽培に関する課題を発 見し,科学的根拠に基 づいて創造的に解決し ている。 c:サトイモ、ネギ、ニンジン 栽培が生活や社会との 関わりについて自ら学 び,主体的かつ協働的 に取り組もうとしてい る。:	授業(実習を 含む)観察 ノート ワークシート 定期考査
			生育の特性 について学 習する。			○		
			種まきと育苗 について学 習する。	○			○	
3 学期	葉 菜類 ・ 根 菜類	サトイモ  ネギ  ニンジン	栽培の経過 について学 習する。	○		○	a:サトイモ、ネギ、ニンジン 栽培について理解して いるとともに,関連する 技術を身に付けている。 b:サトイモ、ネギ、ニンジン 栽培に関する課題を発 見し,科学的根拠に基 づいて創造的に解決し ている。 c:サトイモ、ネギ、ニンジン 栽培が生活や社会との 関わりについて自ら学 び,主体的かつ協働的 に取り組もうとしてい る。:	授業(実習を 含む)観察 ノート ワークシート 定期考査
			生育の特性 について学 習する。			○		
			種まきと育苗 について学 習する。	○			○	

令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	農業科	科目	草花	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	7実教 農業 708 草花						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

・草花における疑問点をさがすとともに、自ら課題を設定し、課題解決に向けたプロジェクト学習について理解しよう。草花生産の現状や種類を把握し、生育特性などを理解した上で、基本的な栽培技術を学ぼう。草花経営を理解することにより、必要な経営能力を身につけ課題を見いだそう。

2 学習の到達目標

- ・プロジェクト学習を行うことにより、課題解決能力を身につける。
- ・草花の種類や生育特性について実習を通して理解し、栽培技術を身につける。
- ・草花生産に関する生産環境などを把握することにより、草花経営の実態を理解する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	草花について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	草花に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	草花について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	定期考査, 検定試験への取り組み	定期考査, 諸課題, 栽培プロジェクトの成果など	授業態度, 提出物(課題)への取り組みなど

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	1章	プロジェクト学習, 草花生産, 利用について	プロジェクト学習, 生産と消費	○	○	○	a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 提出物, 授業への取り組み
			生活と草花の利用	○	○	○		
			草花生産環境	○	○	○		
2学期	2章	草花生産と消費の動向	草花園芸の特徴	○	○	○	a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 提出物, 授業への取り組み
			草花生産と消費	○	○	○		
			草花の多面的路用	○	○	○		
3学期	4章	草花の特徴と栽培環境	品種改良と繁殖	○	○	○	a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 提出物, 授業への取り組み
			草花生産と栽培技術	○	○	○		
			生産施設と調節	○	○	○		

令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	農業科	科目	農業機械	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	7実教 農業320 農業機械						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業経営とマーケティングに必要な資質・能力を育成することを目指します。

2 学習の到達目標

- ・実験・実習を通して、機械の構造と作業特性の相互関係から機械の点検方法について理解する。
- ・機械の維持管理を図る実践力を育てるとともに多種多様な機械の構造等の理解を深める。
- ・地域農業の実態に応じて適切な農業機械を選定できる能力や機械及び燃料を安全に利用できる能力と態度を育成する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	農業機械について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	農業機械に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養っている。	農業機械について特性を理解し、効率的な利用へつながらよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養っている。
評価方法	学習活動の取組,レポート提出, 定期考査	学習活動の取組,レポート提出, 定期考査	学習活動の取組

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	1章	農業機械の役割	農業機械化の意義	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業〔座学・実習〕への取り組み
			農業機械の利用とその現状	○	○	○		
2学期	2章	原動機	内燃機関について	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業〔座学・実習〕への取り組み
			電動機について	○	○	○		
3学期	3章	トラクタ	乗用トラクタについて	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業〔座学・実習〕への取り組み
			歩行用トラクタについて	○	○	○		

令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	農業科	科目	植物バイオテクノロジー	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	7実教 農業703高等学校 植物バイオテクノロジー						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

鹿児島県の特産であるサツマイモを教材に植物バイオテクノロジーの意義や役割などを学ぶとともに、実習や実験などを通して、地域社会で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成します。

2 学習の到達目標

・植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。  
 ・植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。  
 ・植物バイオテクノロジーについて特質を理解し、農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	植物組織培養などの植物バイオテクノロジーに関するプロジェクト学習を通して、植物体のもつ分化全能性などの特性やバイオテクノロジーの技術的特質、無菌操作から培養、順化等の一連の知識と技術、植物遺伝情報の利用等の仕組みなど、植物バイオテクノロジーに関する知識と技術を、体系的・系統的に理解し身に付けている。	農業の各分野における植物バイオテクノロジーの利用に関する課題を発見し、農業への実践事例や植物バイオテクノロジーが果たす社会的な意義と役割などを踏まえるとともに、環境への配慮や法令遵守など、職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養っている。	植物バイオテクノロジーの学習を通して、農産物等の品質改善や品種改良、生産性の向上を図るとともに、安全で安心できる農産物の生産や生活環境の創造を目指し、植物バイオテクノロジーを活用した農業及び関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養っている。
評価方法	学習活動の取組,レポート提出,定期考査	学習活動の取組,レポート提出,定期考査	学習活動の取組

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	1章	植物バイオテクノロジーの意義と役割	バイオテクノロジーとは何だろう	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業への取り組み
			人間社会とバイオテクノロジー	○	○	○		
2学期	2章	植物バイオテクノロジーの基礎	植物とは何だろう	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業への取り組み
			植物の細胞分裂と分化	○	○	○		
3学期	3章	植物組織培養の基礎	組織培養とは何だろう	○	○	○	a:単元への理解、技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業への取り組み
			組織培養の方法	○	○	○		

令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	農業科	科目	食品製造	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	食品製造(実教出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

・授業では、食についての加工法、貯蔵法、食品表示、衛生、包装技術について興味を持って学び、その基本を理解し、食品を扱う基礎技術を身につけます。また、地域の生産物を利用した加工品について興味をもって学びます。

2 学習の到達目標

・身近な存在である「食」について興味関心を高め、基礎的な知識や加工技術を習得する。  
 ・食品製造に必要な知識と技術を習得させ、食品の特性と加工方法および貯蔵の原理を理解する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	加工食品の原材料の特性を理解する	食品の安全性や変質の要因等を理解し実践する	知識、技術を活用し、安全で効率的な作業を行う
評価方法	学習活動の取組、レポート提出、定期考査	学習活動の取組、レポート提出、定期考査	学習活動の取組

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学 期	1 2 章	食品製造の意義と動向、製造の基礎	食品製造の目的	○	○	○	a: 単元への理解、技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業への取り組み
			食品産業の動向	○	○	○		
			食品の分類	○	○	○		
2 学 期	3 章	食品の変質と貯蔵	各要因による変質	○	○	○	a: 単元への理解、技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業への取り組み
			食品の貯蔵法	○	○	○		
			貯蔵法の原理	○	○	○		
3 学 期	4 章	食品加工と食品衛生	食品衛生の目的	○	○	○	a: 単元への理解、技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び、主体的に学ぶ態度	定期考査、提出物、授業への取り組み
			食中毒の概要	○	○	○		
			食品添加物	○	○	○		

令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	農業	科目	生物活用	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	7 実教 農業 711 生物活用						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

・園芸作物(草花・野菜)や社会動物の活用に必要な知識と技術を学び、それらの生物の特性を活用した活動や療法について学習します。また、花や野菜の栽培技術をとおして、暮らしの中での植物の活用することで生活の向上を考えましょう。

2 学習の到達目標

- (1)植物や動物とふれ合い、世話をすることによって、生物を福祉的に、あるいは療法的に活用して、思いやることの意義と役割を学ぼう。
- (2)人間と植物・園芸との関係を理解しよう。
- (3)生活における植物および園芸の多面的な利用について理解しよう。
- (4)植物を扱うさいの留意点を理解しよう。
- (5)人間と動物がどのようにかかわってきたか理解しよう。
- (6)動物とのふれあいがもたらす、さまざまな効用を理解しよう。
- (7)動物とのふれあいが、医療の分野にも応用されていることを知ろう。
- (8)植物や動物を活用した活動と、植物や動物を活用した療法の違いを学ぼう。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	園芸作物の栽培、活用について興味・関心を持ち、実践的な態度を身に付けている。	園芸作物の諸課題や活用により生活の向上を目指し、思考を深め、合理的に判断し、表現する能力を身に付けている。	おもに草花や野菜の技術を身に付け、活用した交流活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
評価方法	・定期考査の成績 ・授業態度・発言 ・出席状況・記録	・定期考査の成績 ・授業態度・発言 ・出席状況・記録	・技能習得の状況 ・出席状況・記録

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	第1章	生物活用の意義と役割	生物活用とは何か・大切さ	○	○	○	a:単元への理解,技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び,主体的に学ぶ態度	・定期考査の成績 ・授業・実習態度 ・出席状況 ・技能習得の状況
			活用暮らしと生物活用	○	○	○		
			私たちの暮らしと生物	○	○	○		
2 学期	第2章	園芸作物の栽培と活用	植物・園芸と人間生活	○	○	○	a:単元への理解,技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び,主体的に学ぶ態度	
			草花の栽培と活用	○	○	○		
			野菜・ハーブの栽培と活用	○	○	○		
3 学期	第3章	動物の飼育と活用	私たちの暮らしと動物	○	○	○	a:単元への理解,技術の習得 b:課題を解決する力 c:自ら学び,主体的に学ぶ態度	
			動物がもたらす効用	○	○	○		
			動物の活用	○	○	○		
			動物を扱うさいの留意点	○	○	○		

令和8年度 園芸工学・農業経済科【シラバス】

教科	農業	科目	地域資源活用	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	地域資源活用(実教出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では、座学が中心ですが、外部と連携する実習があります。</li> <li>・対人サービスやマナーを身につけ、場面や目的などのTPOに応じた服装や衛生管理が、自分でできるように努めましょう。</li> <li>・指宿市や南九州市の地域資源や現状を踏まえた学習内容に自分で考えながら取り組みましょう。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

<p>(1) 地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	地域資源の活用について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	地域資源の活用に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。	地域資源の活用や人間生活との関わりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評 価 方 法	授業中の発表内容 レポート提出 実践活動の取組内容	授業中の発表内容 レポート提出 実践活動の取組内容	授業(実習を含む)態度 授業中の発表状況 提出物の取組状況
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学 期	内 容	単 元 (題 材)	学 習 内 容	主 な 評 価 の 観 点			単 元(題 材)の 評 価 規 準	評 価 方 法
				a	b	c		
1 学 期	地域資源活用とは	プロジェクト学習	地域資源の特性と活用の意義、方法を学習する。	○	○	○	a:現状・課題・変化を理解し、関連する技術を身に付ける。 b:現状・変化に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 c:現状・課題・変化が人間生活との関わりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	授 業 (実 習 を 含 む) 観 察 ノ ー ト
	農山村社会の変化と地域振興	施策・取組	国や地方自治体での地域活性化の施策・取組について学ぶ。	○	○	○		
	地域資源活用の実践	企画と実践・実践例	地域の課題を理解し、学んだ知識や技術を活用したプログラムを企画する。	○	○	○		
2 学 期	地域資源活用の意義と役割	魅力と価値、実践と課題	地域資源の活用方法や試作・取組を学習する。 社会的企業活動を学ぶ。	○	○	○	a:魅力や価値について理解し、関連する技術を身に付ける。 b:施策と取組の課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 c:施策と取組を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	※実践活動を行います。 (準備・目的→計画・立案→実行・評価→振り返り)
	地域資源の価値と活用	地域資源の見つけ方と活用	連携による知恵の活用と役割分担の重要性を学ぶ。	○	○	○		
		観光・商品開発・サービス業・教育・福祉への活用	資源の発見と特徴、役割について理解し、運営する方法を考える。	○	○	○		
3 学 期	地域と連携した活動	マーケティングとブランドづくり	特徴と進め方を理解し、社会の評価を知り、比較する方法を知る。	○	○	○	a:マーケティングを理解し、関連技術を身に付ける。 b:課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 c:マーケティングを自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	
		農業のユニバーサルデザイン化	ユニバーサルデザインを理解し、農業生産の現場に導入する意義を考える。	○	○	○		